

火気厳禁  
禁煙

# 発泡スチロール減容機 ちいさくな～れ



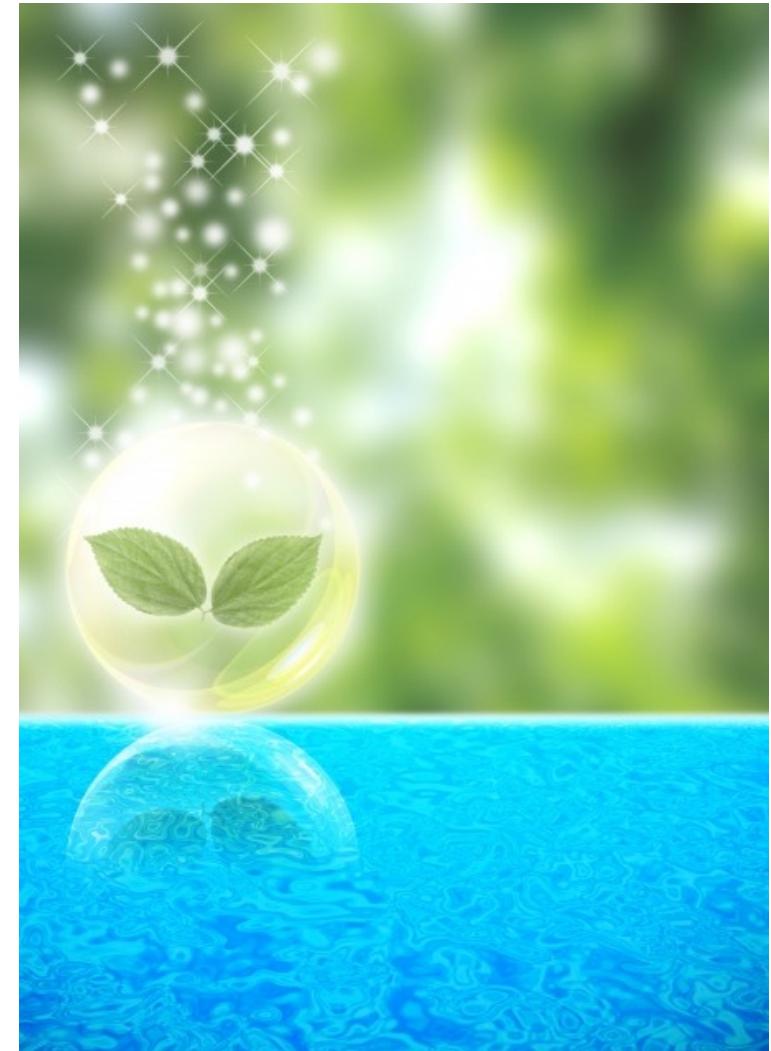
会 社 名

井 上 商 事

営 業 所

大阪府八尾市木の本3丁目22-8

TEL : 072-945-4004





# スーパー様の抱えるお悩みをこれ一台でスッキリ解決！

## 火災の危険



タバコのポイ捨てなどによる火災の危険がなくなります。

## ニオイや汚水



貯める事なく資源化できるので時間の経過による悪臭を防ぎます。

## スペースの有効活用



発泡スチロールの集積を無くし、ゴミ置場のスペースを有効活用します。



## コスト削減



ゴミを減らす事で廃棄物処理費用を削減します。

## 集客



近隣住民様に食品トレイを持ち込みいただく事で新規顧客の獲得に繋がります。

## 環境活動



リサイクル機を導入する事で企業のイメージアップに繋がります。



特許を取得した最先端の発泡スチロール再資源化ロボットが  
リニューアルして大阪に登場！



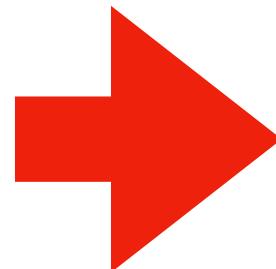
# 発泡スチロールの再資源化とは？

普段、スーパー や 電気店、配送センターなどで廃棄処理されている発泡スチロール(魚箱、食品トレイ、梱包材)を再利用するための最先端のリサイクル方法です。

## 従来のリサイクル方法との違い

### 従来のリサイクル

- ① 発泡スチロール置場が必要
- ② 処理方法が不透明
- ③ 運搬委託契約書が必要
- ④ 処理費、運搬費がかかる



### ちいさくなーれ

- ① 発泡スチロール置場が**不要**
- ② 目の前で**資源化**できる
- ③ 運搬委託契約書が**不要**
- ④ 樹脂を**売却**できる

発泡スチロールは排出事業所自ら資源化できる唯一の資源です。



# 操作はカンタン！ただ入れるだけ！



この発泡スチロールが



ただ入れるだけで



たった20分で



50分の1に！！



## 樹脂は井上商事が高価買い取り！



## 導入例①



スーパー・マーケット

### 導入前

月間排出量

150m<sup>3</sup>(カゴ台車150台分)

処理方法

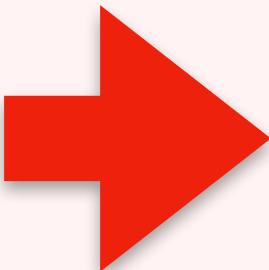
廃棄物処理業者へ処理委託

月間処理費用

75,000円/月

お悩み・要望

環境問題への取り組み



### 導入後

月間排出量

150m<sup>3</sup>(カゴ台車150台分)

処理方法

再資源化→売却(5円~10円/kg)

月間処理費用

0円/月

結果

樹脂売却費 +7,500円

コスト削減、ごみ減量化による  
イメージアップ



## 導入例②



### 配送センター・家電量販店

#### 導入前

月間排出量

10m<sup>3</sup>/月

処理方法

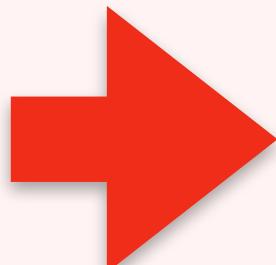
産業廃棄物業者へ処理委託

月間処理費用

70,000円/月

お悩み・要望

廃棄物処理費用の削減



#### 導入後

月間排出量

10m<sup>3</sup>/月

処理方法

再資源化→売却(5円~10円/kg)

月間処理費用

0円/月 樹脂売却費 +500円

結果

コスト削減、ごみ減量化による  
イメージアップ



## 発泡スチロールを廃棄処理する事で発生するリスク

契約書、マニフェストの保管義務、事務作業

国や行政からのごみ減量化に対する指導

廃棄物処理法に抵触する危険

ニオイ、汚水、ハエ

お店のイメージダウン



廃棄物処理費の高騰

スペースの圧迫

火事のリスク



## 処理委託の危険性

発泡スチロール処理に対する行政の取り締まり強化

あなたのお店は大丈夫ですか？



食品ロスや生ゴミと一緒に処分

事業所から排出される発泡スチロールは産業廃棄物です！



# 発泡スチロールを廃棄処理するには

## 1.処理委託契約書

## 2.産業廃棄物管理票(マニフェスト)

## この2点が必要

※運搬費だけを支払っている場合のみ2は不要

※マニフェストは5年の保管義務有り

処理委託契約書



マニフェスト



もし、委託契約を交わさず処理委託していた場合、  
排出者責任を問われ、排出者が罰せられます。



# 導入のメリット

## 1 ニオイ、汚水対策

保管せずすぐに資源化できるので魚や肉のイヤなニオイや汚水がなくなります。

## 2 スペースの有効活用

今まで発泡スチロールを貯めていたスペースを有効活用できます。

## 3 火災予防

タバコのポイ捨てなどによる火災の心配がなくなります。

## 4 事務作業の簡素化

廃棄物ではなくなるので処理委託契約書やマニフェスト管理が不要になります。

## 5 廃棄物処理法や行政指導対策

廃棄物排出量の減量化措置として認められます。

## 6 処理コスト削減

廃棄物を商品化する事で廃棄コストを削減できます。

## 7 環境保全活動によるイメージアップ

廃棄物減量活動の取り組みによる企業のブランディングとイメージアップを図ります。

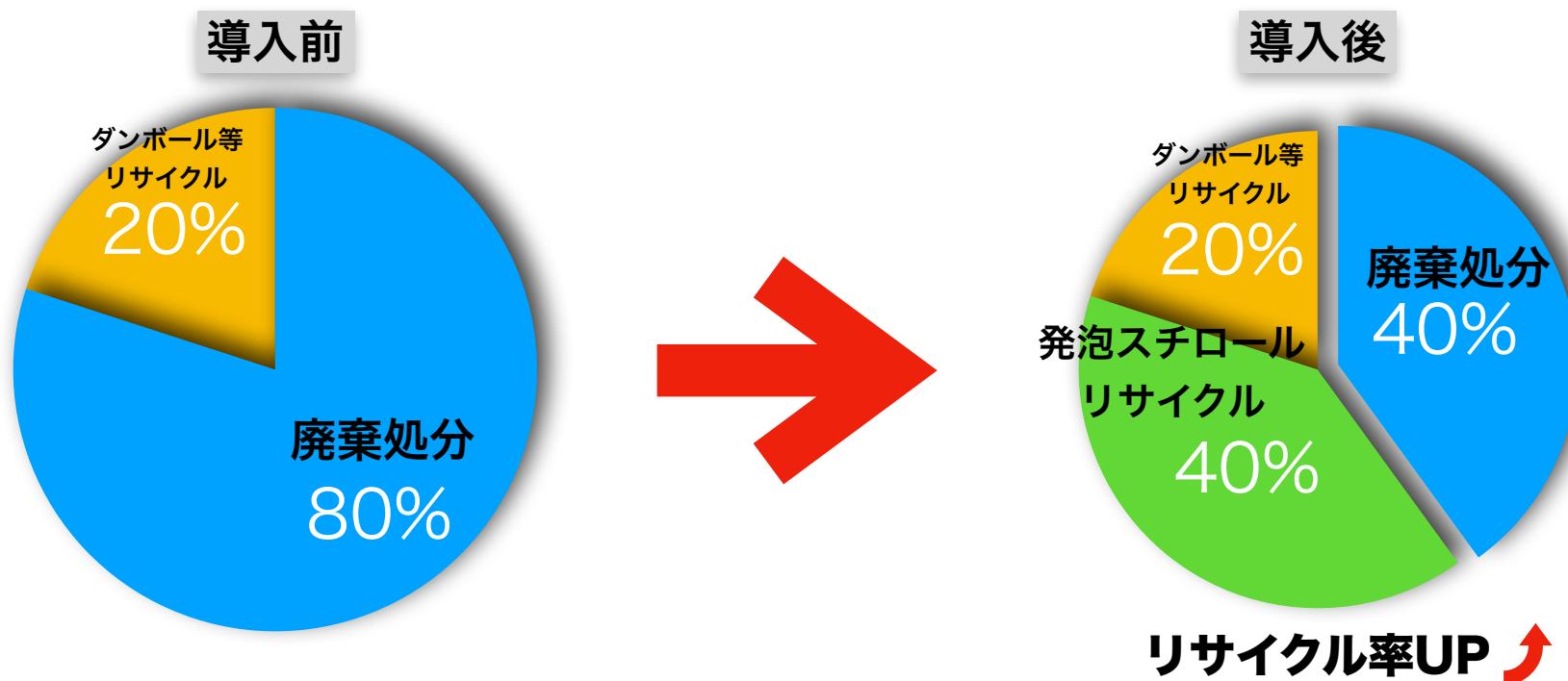
## 8 集客効果

リサイクルポイントシステムの導入や近隣住民の方に食品トレイを持ち込んでいただく事で新規顧客の獲得に繋がります。



## 廃棄物の減量化・リサイクル率の最大化

リサイクル率を最大化する事で、  
廃棄物量、リスク、コストを削減





## 【おおさかプラスチックごみゼロ宣言】

### 大阪市「プラスチックごみ削減目標」 について

令和元年5月

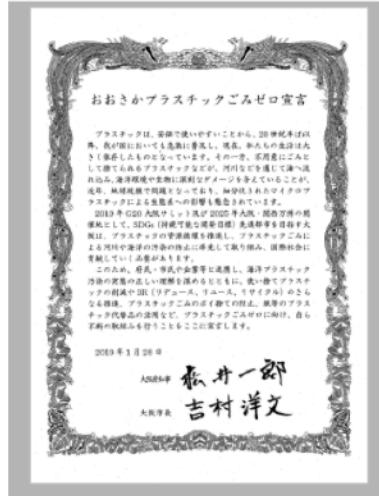
大阪市環境局

---

大阪市HPより引用



## 1 プラスチックごみゼロ宣言



### ○プラスチックごみゼロ宣言

- ・大阪市と大阪府共同で、2019年G20大阪サミット及び2025年大阪・関西万博の開催地として、プラスチックごみゼロに向け、使い捨てプラスチック削減のさらなる推進を行うことなどを盛り込んだ「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を実施することとした。
- ・プラスチックごみゼロをめざし具体的な行動を実施することとした。



### ○実施内容の例

- ・エコバッグを常に携帯する運動の推進（大阪エコバッグ運動）
- ・新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築
- ・大阪市としてのプラスチックごみ削減目標など

大阪市HPより引用



## 2 大阪市「プラスチックごみ削減目標」（案）

2025年度までに

- ① ワンウェイのプラスチック(容器包装等)を25%排出抑制(リデュース)する。  
(2005年度比)
- ② 容器包装プラスチックの60%を資源化(リサイクル)する。
- ③ また、ペットボトルを100%資源化(リサイクル)する。
- ④ なお、残りのプラスチックごみについては引き続き削減・資源化を進めるが、  
熱回収を含め100%プラスチックごみの有効利用を図る。

※削減対象＝大阪市が収集するプラスチックごみ

大阪市HPより引用



## 1. はじめに

### ①背景

- 現在、プラスチックごみによる海洋汚染が世界全体の課題となっており、2018年に開催されたG7において、「海洋プラスチック憲章」が提起されるなど、プラスチック問題に対する国際的な対処が必要となっている。
- 本年6月に開催されるG20大阪サミットでこれらの問題が取り上げられることとなっており、プラスチック資源循環の取組が求められている。

### ②国の動き

- 「第4次循環型社会形成推進基本計画」では、「プラスチック資源循環戦略」を策定し、これに基づく施策を進めていくこととしている。
- 2018年7月、「中央環境審議会」へ諮問。「プラスチック資源循環戦略小委員会」を設置し審議。
- 本年3月、「中央環境審議会」から「プラスチック資源循環戦略」（案）を答申。
- 「プラスチック資源循環戦略」（案）の項目として、
  - ・レジ袋の有料化義務化（無料配布禁止等）を通じて、消費者のライフスタイル変革を促す。
  - ・2030年までに、ワンウェイのプラスチック（容器包装等）を25%排出抑制する。
  - ・2030年までにプラスチック製容器包装の6割をリユースまたはリサイクルする。
  - ・2035年までに全ての使用済みプラスチックを熱回収も含め100%有効利用する。
- G20までに、政府として「プラスチック資源循環戦略」を策定する予定。



出典:海上保安庁

### ③本市のこれまでの対応

- 2005年度から容器包装プラスチック分別収集の全市実施。
- 容器包装プラスチックの分別収集の自治体負担のあり方について、国へ要望活動を主導。
- 2017年11月、環境省モデル実証事業（製品プラスチック一括回収及び選別一本化）へ参加。
- 2019年1月、大阪府と「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を共同で宣言。

大阪市HPより引用



## 2. 大阪市が収集しているプラスチックごみの状況（平成29年度）

用途（※）	排出量推計	品目の例	収集後の処理
ワンウェイ	57,300トン	容器包装プラスチック、ペットボトル、使い捨ての商品（ストロー、スプーン等）	選別後、資源化、焼却（熱回収）
その他	8,300トン	その他商品（おもちゃ、洗面器、ケース等）	焼却（熱回収）
プラスチック類 収集量推計 小計	65,600トン		

※「ワンウェイ」=通常一度使用した後にその役目を終えることをいう

※排出量推計 平成29年度組成分析調査【大阪市環境局】より算出

（参考値）許可業者が収集しているプラスチックごみの排出量推計（平成29年度）

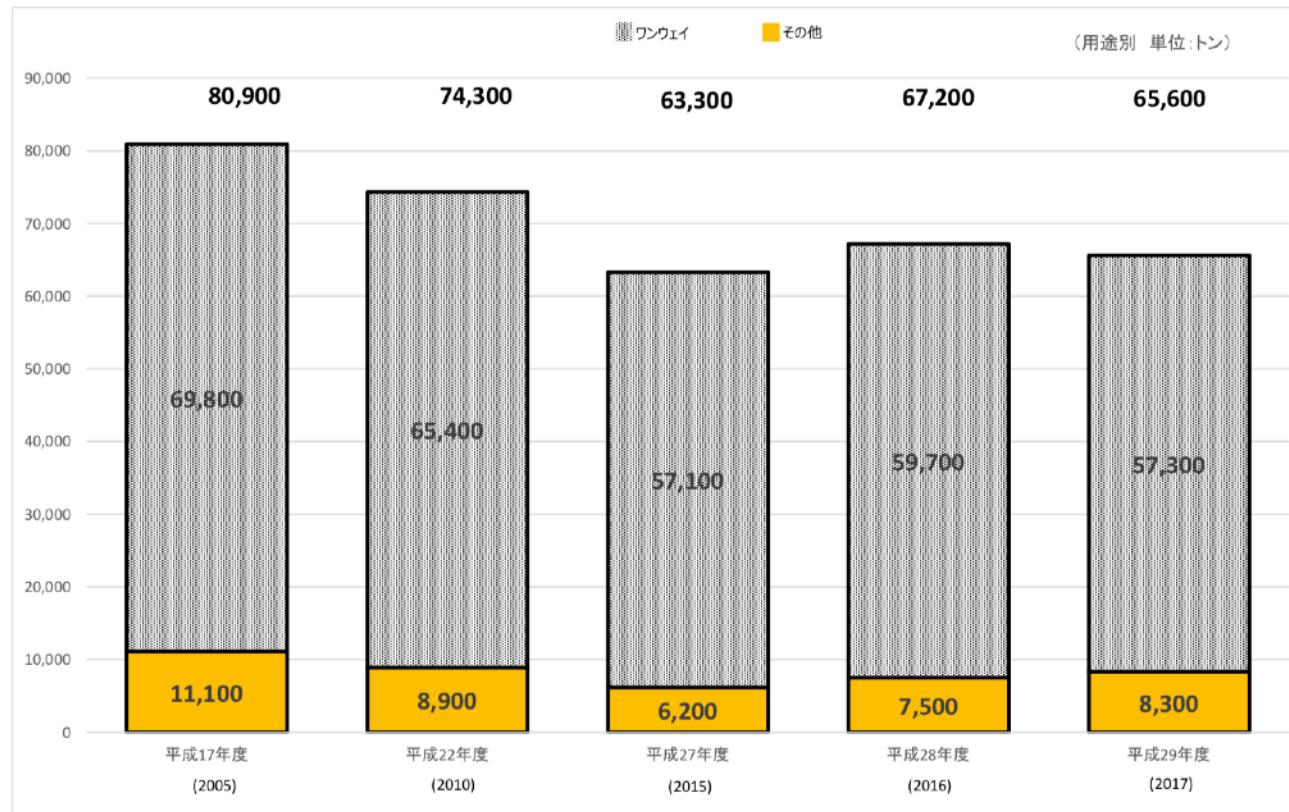
79,800 t ※排出量推計 平成25年度組成分析調査【大阪市環境局】等より算出

事業所から排出された廃プラスチック類（産業廃棄物）については、適正ルートでの処理を推進

大阪市HPより引用



### 3. 大阪市が収集するプラスチックごみ量の推移



大阪市HPより引用



#### 4. 大阪市「プラスチックごみ削減目標」策定にあたっての考え方

##### 1. 対象

大阪市が収集するプラスチックごみ

##### 2. 目標年次

大阪・関西万博が開催される 2025年度を目標年次とする。

(現在の大阪市一般廃棄物処理基本計画の目標年次でもあり、「プラスチック資源循環戦略（案）」の目標年次を5年前倒しする。)

##### 3. 基準年度

2005年度（容器包装プラスチック分別収全市実施の2005年度を基準年度とする。）

##### 4. 削減目標

(1) リデュース・リサイクル 2005年度比▲17,500 t ▲25%超 (2017年度から2025年度までの8年間でさらにワンウェイプラスチック▲5,000 t)

・常にマイバッグを携帯することにより、レジ袋の発生を抑制する。（大阪エコバッグ運動）

2017年度 6,900 t →2025年度 1,900 t ▲5,000 t

・不要な使い捨てプラスチックを「使わない」「もらわない」という行動の呼びかけや、リユース食器等の利用、プラスチック代替品の使用などを市民等に啓発することにより、使い捨てプラスチックごみの発生を抑制する。

・リユース可能な食器や容器の使用を呼びかけるなどの啓発を行うことにより、プラスチックごみの削減に繋げる。

(2) リサイクル 2025年度の容器包装プラスチックの60%を資源化

###### ①区ごとの減量目標

区ごとの減量の取組などを推進し、プラスチックの資源循環を一層推進して分別排出率を向上し、資源化を進める。

容プラ分別排出率 … 2005年度 分別排出率 36%（資源化量16,300 t）→2025年度 分別排出率 60%（資源化量22,600 t）  
(2017年度 分別排出率 46%)

###### ②ペットボトル資源循環

コミュニティビジネスの要素を取り入れた「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」の構築により、地域へのインセンティブを生み、分別に対する意識の向上を図ることでペットボトルのリサイクルを推進する。

ペットボトル … 2005年度 資源化量4,900 t (63%リサイクル) →2025年度 資源化量7,900 t (100%リサイクル)

大阪市HPより引用



## 【集客】 地球に優しいお店づくりを始めませんか？

### ① 食品トレイの受け入れ

近隣住民様に食品トレイやPSP製(発泡ポリスチレン)包装容器を持ち込んで頂くことで他店舗顧客の獲得に繋がります。



### ② エコポイント制度の導入

食品トレイを持ち込んで頂いたお客様にお店で使える【エコポイント】を進呈することで顧客離れを防ぎます。





## 実演会のお知らせ

メーカーショールームにて実演会を定期開催しております。  
まずは一度、発泡スチロールが資源になる瞬間をご覧くださいませ。

日時：毎週水曜 午前の部 10時～12時  
午後の部 13時～16時

場所：アネット本社ショールーム



アネット本社ビル

〒610-0102  
京都府城陽市久世荒内160-2京阪ビル4階  
TEL : 0774-55-0069  
FAX : 0774-54-1575  
実演会場のアネット本社ショールームはこちらの住所までお越しください。

